

The Membership of the National Museum of Modern Art, Kyoto



# 京都国立近代美術館 友の会会報

2007  
AUTUMN  
第16号



池田満寿夫 <花嫁> 1964年  
ドライ・ポイント、ルーレット、エッチング(試刷) 京都国立近代美術館蔵

展覧会の



見どころ

新収作品展-寄贈されたM&Yコレクション

## 池田満寿夫の版画

11月20日[火]—12月24日[月・祝]

このたび京都国立近代美術館に、日本の現代版画の代表的作家として国の内外で高く評価されている池田満寿夫(1934-1997)の版画作品、約800点が寄贈されました。これらの作品は、池田満寿夫の長年のパートナーであったバイオリニストの佐藤陽子氏と、同氏が池田満寿夫と共に運営してきたM&Y事務所から寄贈されたもので、「M&Yコレクション」として当館に収蔵・登録されました。そのすべては池田満寿夫自身が厳選して手元に残してきた作品であり、1956年から1997年までの彼の版画作品をほぼ網羅しています。世界各地の版画展での受賞作品に加え、出版されているカタログ・レゾネに未収録の作品や貴重な豆本のシリーズも含まれており、国・公立美術館としてはその質と数において世界最大規模の池田満寿夫コレクションとなりました。

池田満寿夫は1934年に旧満州・奉天に生まれ11歳で帰国、1952年に長野北高校を卒業後、画家を志して東京に移ります。そして日本における前衛美術の先駆者の一人であり、デモクラート美術協会の創設者でもある瑛九(えいきゅう・1911-1960)に師事、同協会に集う魏嘔や磯部行久らとともに油彩、エッチング、石版、フォト・デッサンなどの多様な技法と造形理論を瑛九



スプリング・アンド・スプリングス 1966年  
ドライ・ポイント、ルーレット  
第33回ヴェネツィア・ビエンナーレ(大賞) 当館蔵



二匹の猫 1965年 ドライ・ポイント、  
ルーレット、エッチング 当館蔵

から学びました。池田の素描家としての才能に注目した瑛九は、当時はまだ珍しかった色彩銅版画の制作を彼に勧め、これを機に池田満寿夫は本格的な版画制作に踏み込んでいきます。版画制作を開始した直後の1957年の第1回東京国際版画ビエンナーレ展の公募に入選、1960年の第2回展で文部大臣賞、1962年の第3回展で東京都知事賞、1964年の第4回展で国立近代美術館賞と受賞を重ね、線描によるその鮮烈な作品は内外の関係者から大きな注目を集めました。また1965年にニューヨーク近代美術館が日本人では初めての個展となる「イケダ・マスオ」展を開催、1966年の第33回ヴェネツィア・ビエンナーレ展・版画部門では国際大賞を受賞するなど、この頃から池田は海外へと飛翔していきます。

1960年代後半から1970年代前半、日本の現代版画家たちは世界各地の国際版画展で受賞を重ね、日本の版画表現の水準の高さを世界中に知らしめました。こうした日本の現代版画の隆盛と国際的評価は、池田満寿夫の作品とその活動に負うところが少なくありません。今回の展覧会では、当館の新収蔵作品となった「M&Yコレクション」のお披露目として約300点の版画作品を展示し、1960~70年代における日本の現代版画の隆盛をリードしてきた池田満寿夫の版画活動の全容を紹介します。偶然にも、本年は池田満寿夫の没後10年にあたり、本展は彼の活動を振り返るまたとない機会となるでしょう。

(当館研究員・中尾優衣)

## 秋の見学バス・ツアー報告 — 信州に美を求めて

金曜日(10月19日)に終日降りつづいた雨が上がって、土曜日は快晴の旅行日和となりました。総勢20名で、近代美術館の前を定刻8時30分に出発しました。バス・ガイドさんに「大名旅行ですね」と揶揄されましたが、まったくその通りで、余裕の席で快適なバス旅行ができました。とはいえ、長野県までは遠路、途中、養老(岐阜県)、駒ヶ根、塩尻のサービス・エリアを経て、ようやく午後3時すぎに最初の目的地、小布施の北斎館に辿り着きました。同館の一带は、北斎館を中心に、テーマ・パーク的に整備され、ツアー客向けの駐車場やみやげ物店も整って、大変な賑わいでした。

北斎館では、学芸員の大変懇切な解説を頂戴し、特別展示の肉筆美人画、花鳥画の他、水流をテーマにした作品など、テーマ別に分り易く展示された木版画のコーナー、祭の山車の天井(上町祭屋台天井画)や欄間に画かれた色彩豊かな波濤図や鳳凰図も見ることができました。小布施在の豪商高井鴻山に招かれて、当地に滞在した北斎は、すでに晩年、八十歳を越える高齢だったと思われそうですが、それを感じさせることのない豪快な作品です。

松代に一泊して、21日は長野市善光寺に隣接する城山公園に、長野県信濃美術館と、同館の別館でもある東山魁夷館を見学。ここでも学芸員から、手短かに、しかも分り易い解説を頂きました。東山魁夷館は、1990年、東山魁夷から約900点にのぼる絵画作品と関係資料の寄贈を受けて開館しましたが、これは生涯風景画家として、清冽な作品を画きつづけた魁夷が、豊かな詩のイメージを多く与えてくれた信州への感謝の想いを込めて寄贈されたものと伺っています。ほう大なコレクションから、年4・5回テーマをしぼって展示替を行うということで、今回は「茜色の系譜」、つまり秋の紅葉をイメージした展示でした。デッサンやエスキース、雑



誌表紙など多彩な展示ながら、まとまった、魁夷画伯の知的な作風に合わせたような展示に注目しました。また、自由見学となったレオナルド・ダ・ビンチの頭脳展は、ダ・ビンチの考案したさまざまな機械や仕掛けを、ダ・ビンチの遺した図から復元・製作した作品を主に展示したもので、青少年の科学への興味を育てるという、教育目的に沿ったものでした。十分、大人も楽しめる展覧会でした。

昼を戸隠高原の中社前の店で頂き、戸隠山、黒姫山の紅葉を車上から楽しみながら、信濃町のインターチェンジから高速に乗りました。山の紅葉は約6分。異例の遅い秋です。下界の高温、夏の居座りが、高地にも及んだということでしょう。南アルプス、中央アルプス、北アルプスの初冠雪が遠望されましたが、これも遅い冠雪だということでした。再び、西日を浴びつつ一路高速を走らせ、午後7時30分、無事京都へ帰着しました。

(R.K.)

※写真は東山魁夷館で学芸員の説明を熱心に聴く会員一同。  
下は同館前での記念撮影(2007年10月21日)

# 友の会よりのご案内

## コレクション・ギャラリーの展示

9月20日(木)ー11月25日(日)(月曜休室)

特別展「カルロ・ザウリ展」を開催(3階)中ですが、同展とはほぼ同時期のヨーロッパ、アメリカの陶芸の動向を当館のコレクションから選んで紹介する催し。1960年代、70年代の欧米の陶芸は、器物としての実用性を捨てて、陶彫的な表現を追求しました。なかでも、西海岸を中心とするアメリカの陶芸は、戦後の抽象表現主義の強い影響を受け、多彩、多様な表現を展開します。同じ抽象表現でありながら、マイルドなヨーロッパの陶彫と対照的な、自在さが顕著にうかがわれます。



リチャード・ショウ スプーン付かめもの壺  
1971年 当館蔵

## 細見美術館との共催による講演会のお知らせ

演題:「神坂雪佳と近代の工芸図案」

講師: 帝塚山大学講師・土田真紀氏

日時: 11月24日(土) 14:00-16:00

会場: 当館1階・講堂

入場: 無料(当館友の会及び細見美術館友の会会員は、事前に申込みされると席を優先的に確保できます)

定員: 80名

輸出振興のために努力を重ねてきた工芸図案は、明治30年代にアール・ヌーボーに出会います。このヨーロッパ世紀末のデザイン様式との出会いによって、日本の工芸図案はどのように変貌したか。神坂雪佳と京都の図案界、またこの時期盛んとなった図案集の出版事情等を中心にお話しいただく予定。

## 友の会の催し

### 友の会・京都市立芸術大学音楽学部 共催によるコンサートご案内

日時: 11月17日(土) 午後6時から

会場: 当館1階ロビー

入場: 無料(整理券が要ります)

- ◆ A. ヴィヴァルディ: 合奏協奏曲集「調和の靈感」より  
4つのヴァイオリンのための協奏曲 作品3-10  
Antonio Vivaldi: Concerti "L' estoro armonico" op.  
3-10, P.148, RV.580  
ヴァイオリン独奏: 江口純子/寺田富美子  
三宅恵/朴理恵
- ◆ A. ヴィヴァルディ: 合奏協奏曲集「調和の靈感」より  
2つのヴァイオリンのためのコンツェルト 作品3-5  
Antonio Vivaldi: Concerti "L' estoro armonico" op.  
3-5, P.212, RV.519  
ヴァイオリン独奏: 中村公俊/中野千瑛

- ◆ J.S. バッハ: 2つのヴァイオリンのための協奏曲  
BWV1043  
Johann Sebastian Bach: Konzert Für 2 Violinen  
BWV1043  
ヴァイオリン独奏: 谷口いづみ/荒巻美沙子

- ◆ A. ヴィヴァルディ: 3つのヴァイオリンのための協奏曲  
作品23-1  
Antonio Vivaldi: Concerto con 3 violini P.278, RV551  
ヴァイオリン独奏: 中野祥世/倉垣瑞穂/岡田真理子

- ◆ J. ハイドン: チェロ協奏曲 第1番  
Joseph Haydn: Concerto per il violoncello Nr.1 Hob.  
VIIb-1 チェロ独奏: 森 和子

※都合により内容に変更が生じる場合がありますのであらかじめご了承ください。

- 開館時間  
午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 夜間開館  
4月15日(金)ー9月2日(金)までの企画展開催中の金曜日  
午前9時30分~午後8時まで(入館は午後7時30分まで)
- 休館日  
毎週月曜日(月曜日が休日に当たる場合は、翌日が休館)、  
及び年末年始  
(開館時間、休館日は臨時に変更する場合があります)

※お車でお越しの場合 岡崎公園駐車場(地下)をご利用の有料入館者は、駐車場の割引(1台1名)を受けられますので、駐車券をお持ちの上お越しください。

### 交通案内



独立行政法人国立美術館

## 京都国立近代美術館

The National Museum of Modern Art, Kyoto

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町  
TEL. 075-761-4111

テレフォンサービス 075-761-9900  
ホームページ <http://www.momak.go.jp>